

皇太子殿下ご来校を記念し新たな伝統をつくりたい

# 「金小歌会始」。児童の名作が詠まれる

平成26年10月14日に金山町全国育樹祭が開催されたのは記憶に新しいところです。皇太子殿下が式典後に金山小学校（須藤信一校長をご訪問され、お話しサークル「きつねのボタン」による読み聞かせの様子を見学なされました。翌年1月に皇居で行われた歌会始で皇太子殿下は、その時の思い出を歌にされました（写真右下）。町にとっても金山小学校にとっても嬉しいニュースとなりました。このことを記念し、金山小学校では、4年生から6年生を対象に1月13日、「金小歌会始」を行いました。

## 5年生優秀作品

※敬称略

スキー場 雪が積もって すべったよ みんなと一緒に ころぶも一緒に  
勉強で わからないこと考えて みんなと一緒に わからなくなる  
人はみな 生まれたときは 泣きわめく 成長しても 元はおなじ  
授業中 いねむりしてて おこられる マンガと一緒に たっているばく  
持つものは 友達家族 両方だ だからどちらも 大事な宝  
迷い込む すてきな本の 中に行く 何度も読んで 夢中になるよ  
父の日に 大好きだよと 手紙書く ちよっとてれるけど 感謝伝える

阿部藍蘭  
石山 陸  
伊藤実咲  
小野樹生  
後藤大河  
佐藤捺菜  
正野 華

## 6年生優秀作品

※敬称略

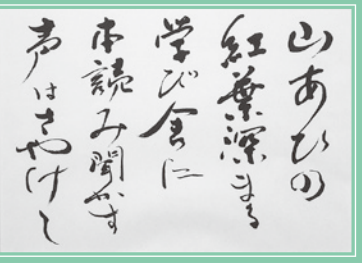
開花待つ 桜のつばみ 我が願い 友と一緒に 満開を見る  
ねる前に 少しの時間 本を読み 夢の中でも 話が続く  
本を読み のんびり過ごす 部屋の中 雪降る音は 幻想世界  
雪ダルマ ぼくの軍手し かっこよく 空を見上げて 雪を待ってる  
読書して 広がる想像 増す知識 思いにふける 楽しい時間  
紅葉の葉 本には喜んで 葉にし 本を読むたび 美しく思う  
十六夜に 外に出てみれば 秋風に 吹かれて落ち葉 散るたびさびし

伊藤天舞  
須賀天音  
世六涼葉  
樋渡祐希  
栗田紗羽  
高橋琉花  
長倉愛羅

作品テーマは「本」と「人」。5・6年生全員が授業で短歌を作ると、感性豊かな作品が揃いました。

新庄瀧山短歌会の皆さんが優秀作品を選んだのが上記の歌です。山田代表は「優秀作品を選ぶのに苦労した。どこに出しても恥ずかしくない素晴らしい作品が集まった。大いに自信を持ってほしい」と児童に賛辞の言葉を贈りました。また、「本をたくさん読んで、辞書をたくさん引くことで短歌づくりは上達できる」とアドバイス。

須藤校長も「皇太子殿下の歌は学校の宝物。歌会始は新しい伝統にしたい。4・5年生の来年の短歌を楽しみにしている」と述べました。来年の開催を楽しみにしています。



皇太子殿下御製  
吉村美栄子山形県知事謹書



6年生の発表から(左)。  
新庄瀧山短歌会山田さんの講評(中)、須藤校長(右)

